

令和5年度 域内循環強化促進事業  
**果報庭(かふうなあ)**  
~果報をもたらす出会いの場(庭)~  
**開催報告!**



No.8

**「果報庭(かふうなあ)」の趣旨・概要**

経済産業部ではこれまで、県内中小企業と観光事業者（県内ホテルなど）が相互に理解を深める場として「果報庭(かふうなあ)」と題した情報交流会・展示会を開催してきました。今回で4回目となる「果報庭」を令和6年1月16日にラグナガーデンホテルで実施しました（今年度は、アメニティ用品やアクティビティサービスなど飲食を除くサプライヤーが出演）。

「果報庭」は、以下を目標としています。

- ①中小企業等の稼ぐ力の向上
- ②観光地としての魅力向上・持続可能な観光地の形成（観光拠点における県内商品の取扱いの増加、県内商品の消費促進）
- ③県内の経済循環を高め、県民所得の向上が図られる

具体的には、「観光事業者と関わる機会がなく、取引もハードルが高い」「どんなサービス・商品なら選んでもらえるだろうか」と感じている県内サプライヤーと、「地元の商品やサービスを利用したい」「どこにどんな商品やサービスがあるのだろう」といっ



果報庭ロゴマーク

と考えているバイヤーが、相互に情報をシェアし交流することで、パートナーシップを構築し、マーケットニーズに即した魅力的な商品開発が図られることなどを支援しています。



果報庭会場の様子①

**参加したサプライヤー・バイヤーの声**

当日は、県内のサプライヤー34事業者、ホテル・小売店等のバイヤー約90事業者が参加し、会場は賑わっていました。

参加したサプライヤーからは、「ホテル事業者とコミュニケーションを行う機会は、個人ではなくできないので、有意義な機会だった」「会ったことのない業種の方々とお話ししができ、具体的な取引の話を進められた」と嬉しいお声をいただきました。参加したバイヤーからは、「様々な県内企業を知ることができて良かつた」「SDGsに配慮した製品もあり良かった」「オリジナル商品を作りたい」という反響がありました。

**令和4年度の成約実績について**

経済産業部では、令和4年度に実施した果報庭において、成約に至った事業者の事例を紹介します。ぜひご確認ください。



果報庭会場の様子②

